

能代地区 企業見学会・交流会

開催月日：平成17年9月21日（水）

視察先：☆能代オリエンタルモーター株式会社

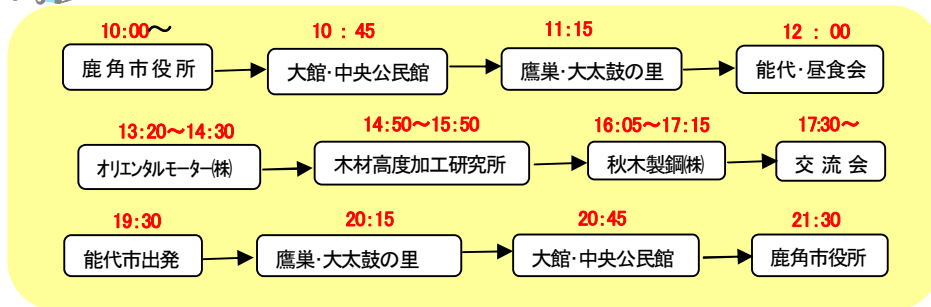
☆秋田県立大学木材高度加工研究所

☆秋木製鋼株式会社

昼食会場：シャインプラザ 平安閣（税込1,000円）

交流会会場：シャインプラザ 平安閣（税込3,000円）

申込方法：別添参加申込書にご記入の上、FAXして下さい。



秋木製鋼(株)

車輛から重機部、加工組立品、溶接構造物に至るまで豊富な納入実績を誇っています。さらに多様化するニーズに対応するため最新のテクノロジーと伝統の技術を投入し続けています。

重電主要周辺機器をはじめ、一般産業建設機器の構造溶接など信頼される溶接技術で、高品質の構造溶接物の製品化に機械加工を含めて展開しています。製品の大型化、高性能化の需要に伴い、工作機械の大型化、高性能化、コンピュータ化を推進し、NC・FA化の設備体制を築いてきました。また最新鋭の設備と循環型のシステムで資源の再利用を図る体制にも力を入れています。火力発電、水力発電、原子力発電の分野は鋳造品の中でも非常に高度な品質が要求される分野です。同社はエネルギー供給の主要部材として蓄積された技術と豊富な製造経験で新素材に取り組みしており、これまで世界に数多く納入してきた実績は品質と信頼の証となっております。

これからの社会は資源を大切にすリサイクル型の手法が必要となってきます。同社はスクラップ材や木材、及びプラスチックの破砕機など環境型社会に広範囲に渡り、総合的に貢献しています。

秋田県立大学 木材高度加工研究所

研究所の研究結果を民間に技術移転するため、財団法人秋田県木材加工推進機構が併設されています。2003年4月には秋田県立大学大学院・生物資源科学研究科が開設され、大学院教育をおして高い技術と研究能力を備えた人材を育成するという新たな目的が加えられました。

秋田県立大学の研究所として、システム科学技術学部、生物資源科学部、総合科学教育センターと共に「地域の持続的発展とそれを担う優れた人材を養成する」という大学設置の基本理念のもと教育・研究活動を行っています。前身は、「秋田県の、木材産業を資源依存型から技術立地型に転換するための基盤の確立」を目的として1995年4月に秋田県立農業短期大学の付属施設として発足した木材高度加工研究所です。

オリエンタルモーター株式会社は、機械産業の分野で世界的に有名な操業115年を誇るモーター専業メーカー。現在の主力製品である、モーター関連製品の製造を開始したのは戦後のことです。パーツメーカーでは初めて、一般的な、取引先から渡される図面を元に受注生産する取引先主導のビジネスから、全ての製品を標準化した上でカタログに掲載して様々な企業に配布、そこからオーダーを取るというビジネスモデルを30年以上も前に構築しました。現在では同社のモーター製品の型番が世界のデファクトスタンダードとなり、顧客数だけで10万社に上るといわれています。多品種少量生産とジャストインタイムを実現するカンバン方式とともに、ベルトコンベアを使わない独自の生産方式を採用。部品加工、組立から検査、梱包まで一人で1台、1台確実に作っています。能代オリエンタルモーター株式会社では、アルミダイカストの鋳造・加工・塗装を行っています。

能代オリエンタルモーター(株)